



KINGRAM
luxury store

時計操作ガイド

1. クォーツ式と機械式時計の違い

◆ クォーツ(電池)式時計

電池による電力を動力として作動します。
機械式と比べて精度が月差数秒と非常に安定した精度で時刻を表示します。
電池の寿命はメーカーによって異なりますが約1年～2年となります。
電池残量が少なくなると動作に異常が確認されるモデルもございます。



◆ 機械式時計

巻き上げられたゼンマイがほどける力を動力としています。
リューズ操作でゼンマイを巻き上げる手巻きと、装着時の腕の動きでも巻き上げが可能な自動巻きの2通りの方式がございます。
機械式の精度はメーカーによる違いもございますが現行の新品・中古で日差±5～20秒程度、アンティーク品や中古品では30秒～2分前後の誤差が生じる可能性がございます。

< 機械式腕時計の分解掃除について >

定期的な分解掃除は機械を長持ちさせます。精度の誤差が大きくなったり、巻き上げがスムーズに行えなくなった場合は油切れと判断できます。
油切れの状態でご使用を続けると、部品の破損にも繋がってきますので、目安として3年から5年周期での分解掃除をお勧めします。

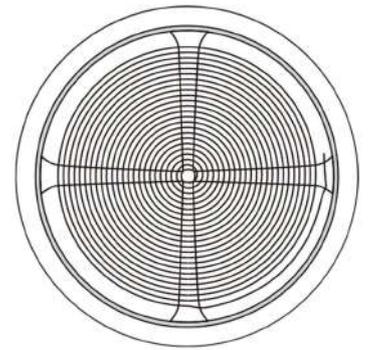
2. 機械式時計の取り扱いについて

機械式時計は複雑な機構で組み上がっています。その為、衝撃・磁気・湿度・温度変化などの使用環境によっても大きな影響を受けます。

定期的なメンテナンスを行い、正しい使用に関する知識を持つことで長年にわたり時を刻む事ができます。

◆ 衝撃に注意

機械式時計の精度の要は右図のようなヒゲゼンマイと呼ばれる0.1ミリに満たない繊細なパーツです。ヒゲゼンマイを含む、細かなパーツの破損を防ぐためにゴルフなどの腕に強い衝撃がかかるスポーツをする時には機械式時計を外してください。また、落下や衝突による強い衝撃にもご注意ください。



◆ 磁気に注意

クォーツ式時計・機械式時計の両方に当てはまりますが、時計は金属でできています。その為、磁気の影響を受けて正常に時間が合わなくなる事があります。一般的に60ガウス以上で影響が出始めると言われています。

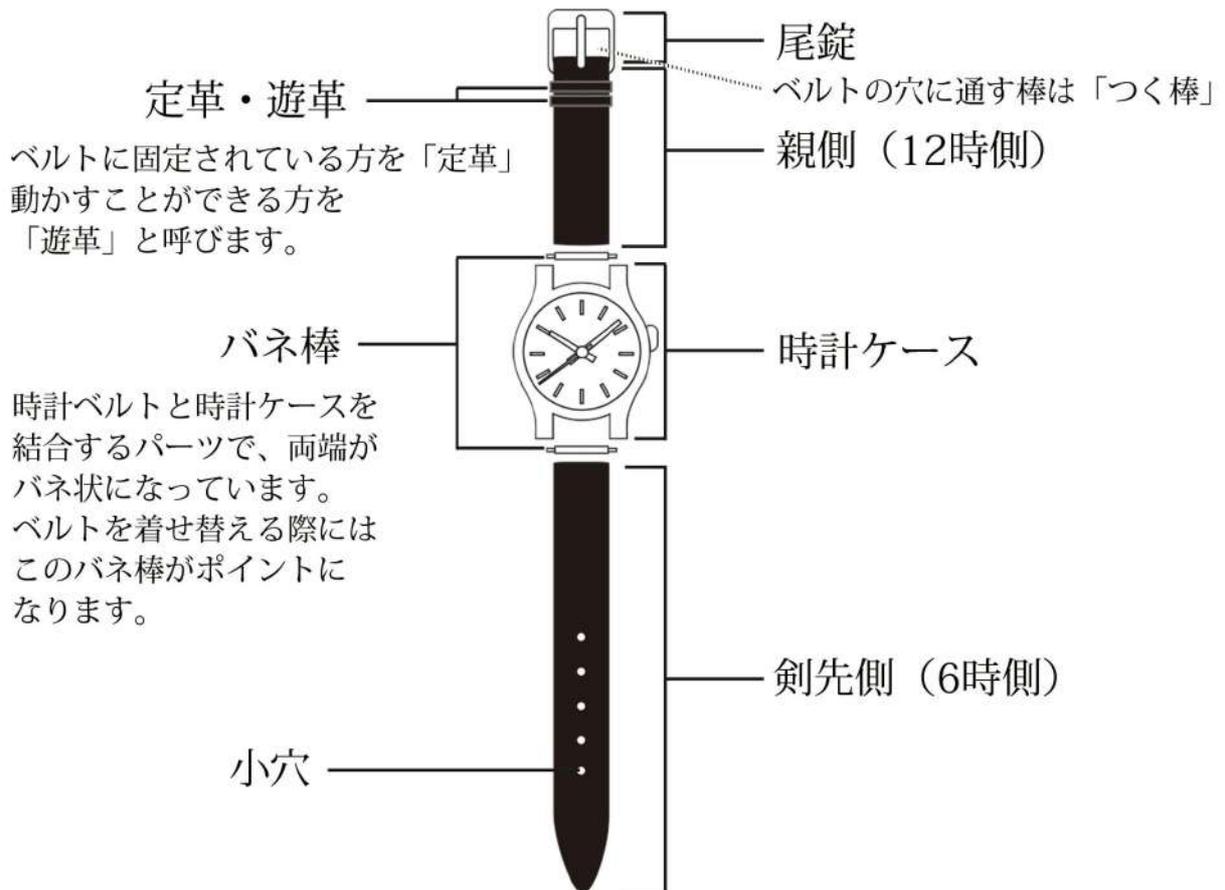
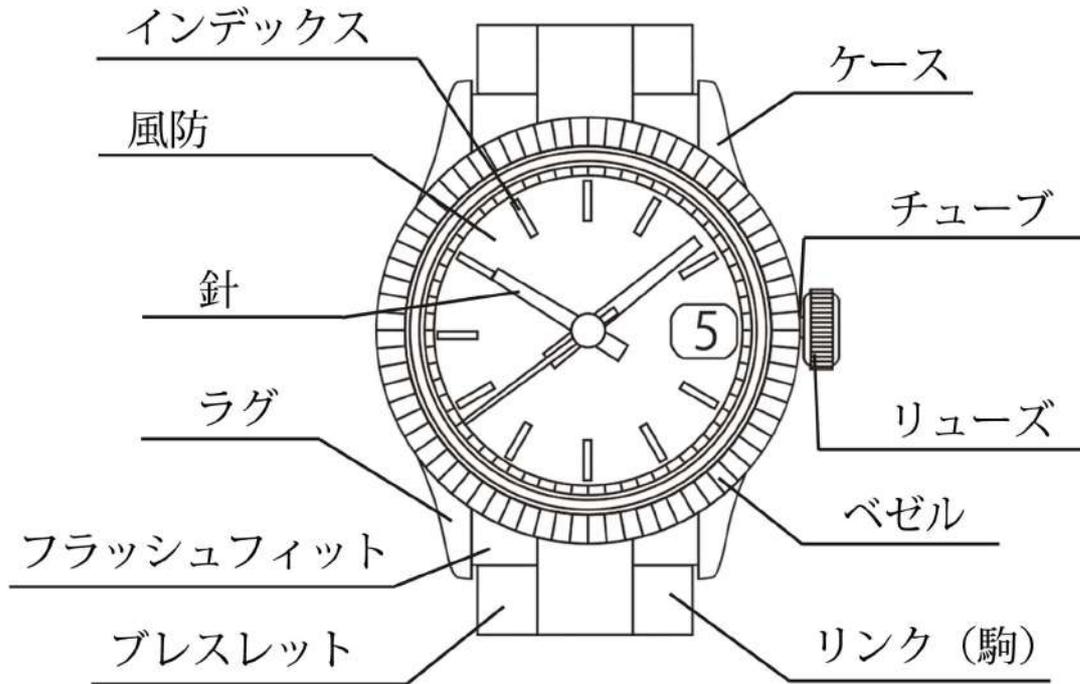
磁気を帯びた事が原因の場合は返品返金対象、保証対象外となり有償修理対象となりますのでご注意ください。

磁気の強さの例		※密着状態での目安数字
・携帯電話(スピーカー部分)	約200ガウス	
・ノートパソコン	約100ガウス	
・タブレット端末	約400ガウス	
・ピップエレキバン	約18000ガウス	
・バッグ類のマグネット	約900ガウス	
・家具のマグネット部分	約800ガウス	

最も影響が出るのは密着状態です。磁気の強さは距離の2乗に反比例するので距離が3倍になれば、磁気の強さは1/9になりますので少しでも距離を離す事で影響を受けなくなります。身の回りにある物ですと、約10cm離す事で大体のものは影響を受けません。

時計をしている腕側で携帯電話の通話をしていても5cm以上距離があるので問題ございませんが、5cm以内に2つとも置いてしまうと磁気を帯びますので保管に注意して下さい。

3. 時計各部の名称



4. 防水性能について

防水時計やダイバーズウォッチなどは、リューズがねじ込み式になっているものや、レバーによって固定することによって防水性能を高めているものがあります。

用途に合わせて3気圧・5気圧・10気圧・20気圧・30気圧または、30M・50M・100M・200M・300Mなど性能の目安が設定されています。

防水のロックを解除する事で、リューズ操作(時間調整など)ができるようになります。

リューズ操作完了後や水に浸かるような環境下でご使用される際には必ず、防水ロックの確認を行なって下さい。

◆ 非防水

非防水の時計は汗や水のしずくがかかっただけでも浸水する恐れがございますので十分にご注意下さい。

◆ 30M・50M表記

文字盤や裏蓋に30M・50Mという表記は、3気圧・5気圧に相当します。

これらの10気圧未満の防水性能では時計本体の気密性が低く、時計内部に水分が浸水する可能性が高いので、お取り扱いには十分に注意して下さい。手洗いや雨のしずく程度は耐える事ができます。生活防水という表現をされる場合がございます。

◆ 100M表記

文字盤や裏蓋などに100Mという表記がございましたら、10気圧に相当します。

10気圧以上20気圧未満の防水性能では時計本体が軽く水に浸かるくらいは耐える事ができますが、水泳やダイビングなどのマリンスポーツにはご使用頂けません。

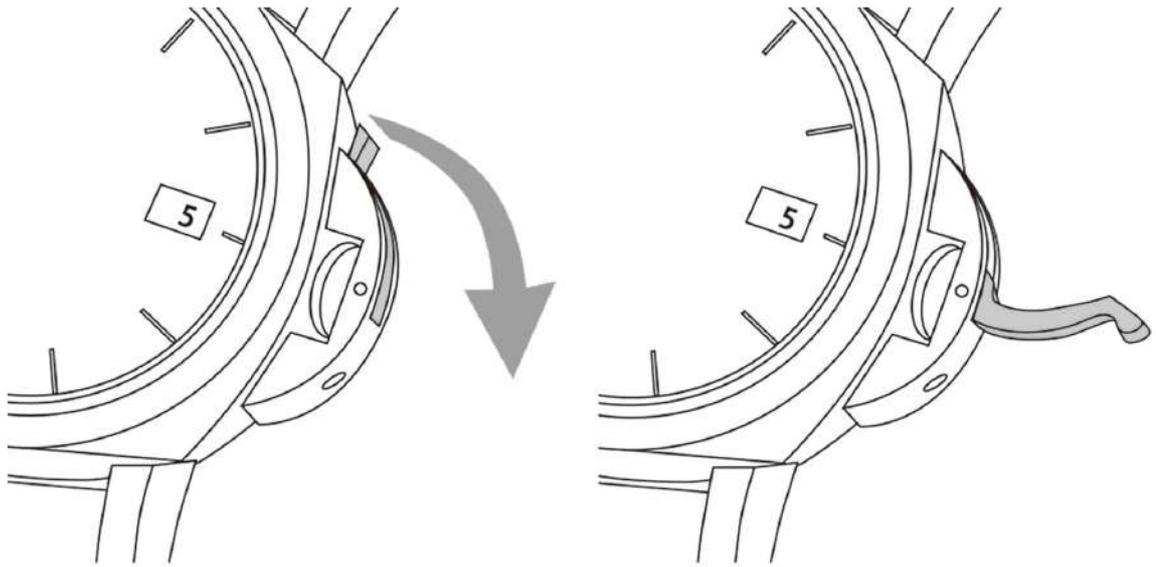
◆ 200M・300M表記

文字盤や裏蓋などに200M・300Mという表記がございましたら20気圧・30気圧に相当します。20気圧以上の防水性能が備わっていればマリンスポーツなどに使用しても問題はございませんが、リューズがしっかりと締まっていない場合や、定期的なメンテナンスを行っていない場合は、浸水する可能性がございます。

※ 中古品・アンティーク品は経年の影響により、新品当時の防水性能を備えていない場合もございます。防水時計でありましても、お風呂や温泉でのご使用は内部の油が拡散し、機械および文字盤・針の劣化の原因となります。

◆ パネライのレバーロック式の解除方法

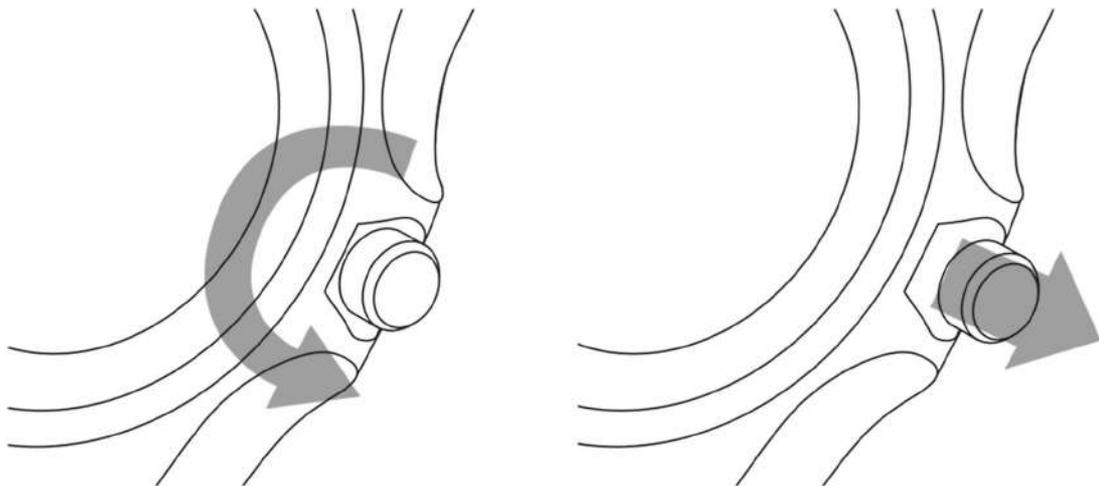
下記の図のようにレバーを起こしますと防水ロックが解除され、リューズ操作が可能になります。



◆ ロレックスなど一般的な防水時計のスクリューロック 解除方法

下図を参考に矢印の方向へリューズを回転させると、スクリューロックが解除されリューズによる時計の操作が可能となります。

※ ロレックスのリューズにあるクラウンマークの位置は個体差がありますのでロックをした時に必ずしも正面を向くわけではございません。



5. 手巻き式時計と自動巻き式時計の違い

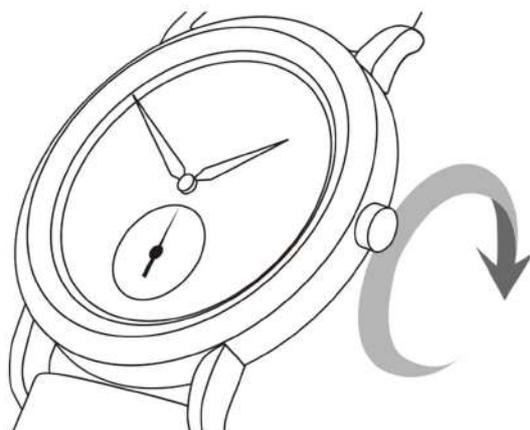
◆ 手巻き式時計のご使用方法

手巻き式の時計をお使いになる時は、出来るだけ毎日同じ時間帯にリューズを矢印の方向にゆっくり回すことによってゼンマイの巻き上げを行います。

巻き止まり(これ以上巻き上げられない状態)まで巻き上げましたら、逆方向に3回ほど回してください。秒針が動きだしますので時刻を合わせてお使いください。

巻き上げは毎日同じ時間帯で行うことによって、時計の精度が安定する傾向がございます。

※ 手巻き式の時計には一部巻き止まりがない製品がございます。



◆ 自動巻き式時計のご使用方法

自動巻き式の時計をお使いになる場合でも、完全に停止した状態から時計をお使いになる場合は、手巻き式と同様に、リューズをゆっくり回していただきゼンマイの巻き上げを行なってください。秒針が動き出しますので、時刻を合わせてお使い下さい。

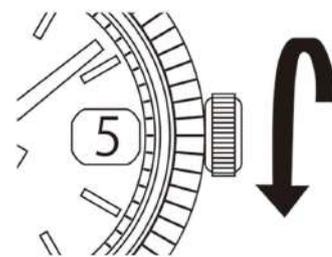
以降は装着した腕の動きにより機械内部の巻き上げ装置が駆動し巻き上げられます。装着時間が短かったり、装着時の腕の動きの量が極端に少ない場合は、ゼンマイの巻き上げ不足・トルク不足により著しく精度が不安定になったり、止まってしまう場合がございますので自動巻き式の時計でもご使用前に30～40回ほど手巻きで巻き上げてからお使いいただくと安定して作動いたします。

駆動時間(パワーリザーブ)はモデルや年式・個体によっても異なりますが、最大まで巻き上がっている状態で平均約30～50時間の駆動を続けます。

6. 時刻・日付の合わせ方

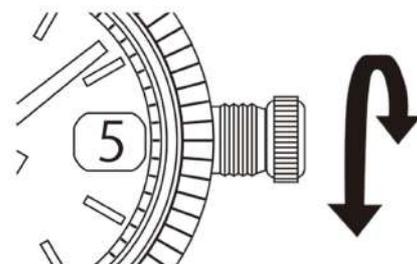
1. リューズを開放する

リューズがねじ込まれていますので、下方向に回すとバネの力でリューズを開くことができます。



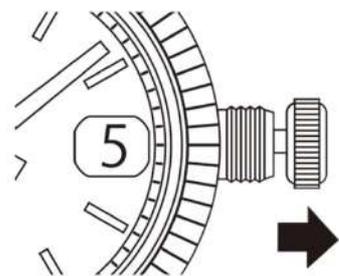
2. ゼンマイの巻き上げ

リューズを前後に回すとゼンマイを巻くことができます。巻上回数は、30～40回が目安です。



3. 日付の変更

リューズを右図の位置にし、日付を合わせてください。ただし、短針(時針)が午後8時から午前4時の時間帯で日付を早送りしますと、故障の原因になりますのでご注意ください。それ以外の時間帯ならば、いつでも自由に調整していただいて大丈夫です。



※ 日付合わせをする際、メンズモデルは上方向にリューズを回してください。また、レディース・ボーイズモデルは下方向にリューズを回してください。(一部該当しないモデルもあります)

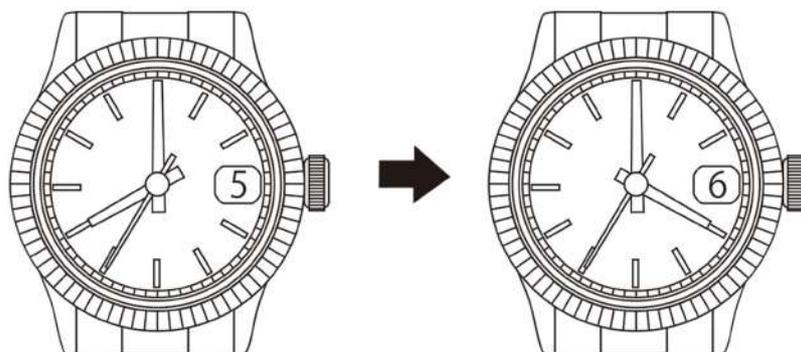
※ アンティーク品など一部モデルは日付のみの変更が行えない場合がございます。

【注意事項】

※ カレンダーが変わる0時をはさんで、前後4時間の時間帯に針位置がある状態では、日付の早送りを行わないでください。

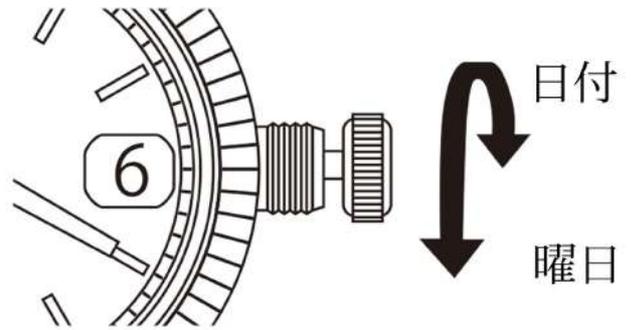
※ 誤って作動させ故障が生じた場合、有償修理となりますのでご注意ください。

カレンダーが変わる0時をはさんで、前後4時間の時間帯



4. デイデイトの日付と曜日の合わせ方

リューズを上方向に回すと日付が変わり、下方向に回すと曜日が変わります。

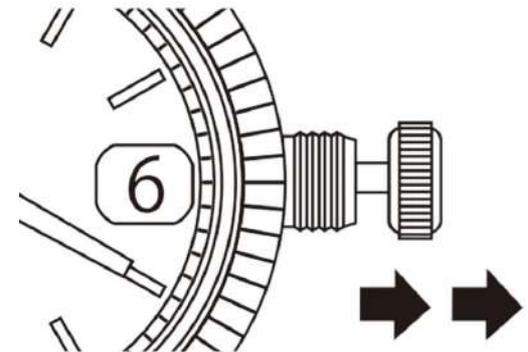


5. 時刻合わせ

リューズを右図の位置まで引き出すと、秒針が止まります(ハック機能)。

この位置で時間合わせをしますが、午前と午後を間違えないようにご注意ください。

針を時計回りに回して時間を合わせますが、短針(時針)が0時を通過する時に日付が切り替わることを確認して、その位置から午前・午後を計算して、合わせたい時間まで針を回してください。



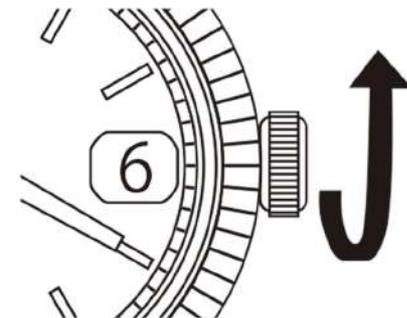
※ 時間合わせをする際、メンズモデルは上方向にリューズを回してください。

また、レディース・ボーイズモデルは下方向にリューズを回してください。(一部該当しないモデルもあります)

6. リューズを閉める

最後にリューズをしっかりねじ込んで、緩みがないか確認してください。

緩みがある場合、防水性能を十分に発揮できないことがあります。



7. クロノグラフのご使用方法

ストップウォッチ機能が組み込まれた時計をクロノグラフと呼びます。

クロノグラフは主にカーレースやヨットレースなどでの使用を目的としていますが技術者や医師にも幅広く利用されています。

◆ クロノグラフモデル各部の名称

A : 通常の時針・分針

B : 12時間積算計

C : クロノグラフ秒針

クロノグラフをスタートさせた時に作動します。

D : 通常の時針

E : タキメーターベゼル

時速や生産率を計る時に利用します。

F : ねじ込み式 プッシュボタン(2時側)

ねじ込みを開けた状態でクロノグラフのスタート・ストップの操作を行ないます。

G : トリプロックリユーズ

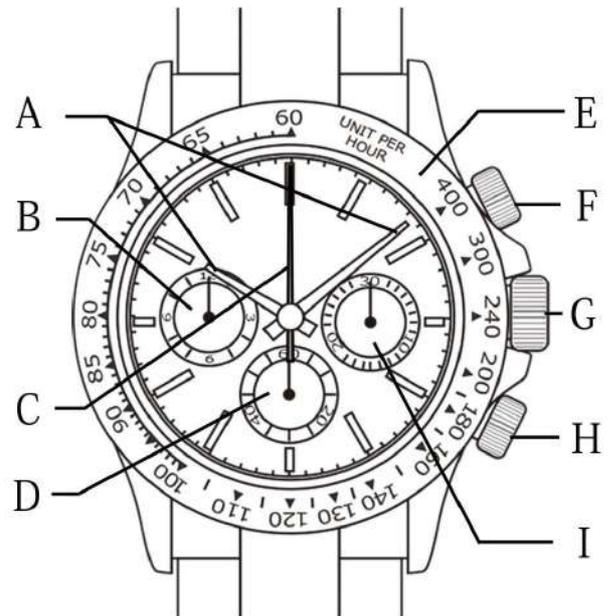
防水性の高い、三重ロック式リユーズ。

H : ねじ込み式 プッシュボタン(4時側)

ねじ込みを開けた状態でクロノグラフ針と各積算計の針をリセットします。

I : 30分積算計

クロノグラフ作動時の経過時間(分)を計測します。



【注意事項】

注1) プッシュボタンは防水ねじ込み式です。使用後は必ずねじ込んだ状態にしておいてください。

注2) ストップウォッチの記録針をゼロに戻す場合は、Hのプッシュボタンを完全に奥まで押し込み、正しくゼロの位置まで戻っていることを確認してください。

この操作は、クロノグラフをストップさせた状態で行ってください。

注3) 過度なストップウォッチ機能の使用はメンテナンス時期を早めることとなりますので、お避けください。

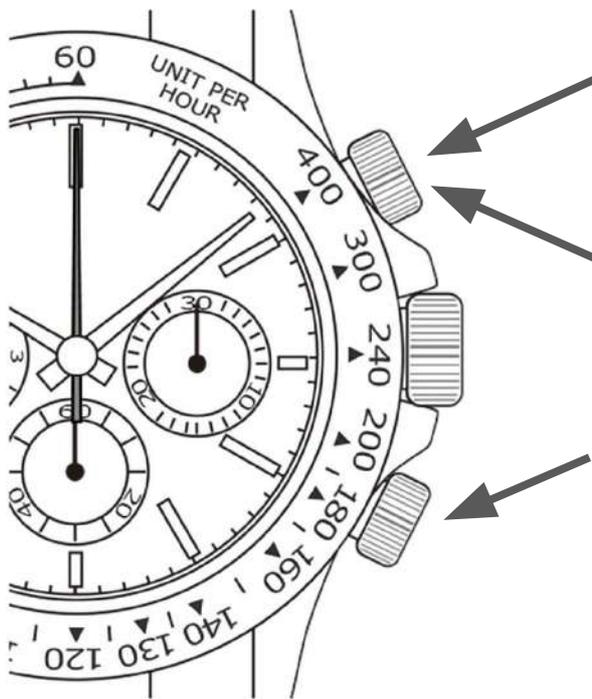
◆ クロノグラフとは

クロノグラフは特定の経過時間を計測するための機能です。
簡単にいいますとストップウォッチ機能です。

◆ クロノグラフの基本的な使い方

タイム測定の基本は「スタート→ストップ→リセット」の3段階で行われます。
操作の仕方は簡単ですが、非常に緻密な設計で作られているため操作方法を誤ると破損の恐れがありますのでご注意ください。

◆ 操作方法



操作①

2時位置のプッシュボタンを押してスタート。計測が始まります。

操作②

もう1度2時位置のプッシュボタンを押すとストップします。

操作③

計測が終了したら、4時位置のプッシュボタンを押す事でリセットされます。

【注意事項】

※ リセットをする際は必ずストップさせてから行ってください。この順序を守らないと針のズレ等の不具合が生じます。

◆ クロノグラフの文字盤の見方

クロノグラフは2本から3本の独立した針が動く事で時間を計測します。

一般的な時計は中央に秒針が配置されていますが、クロノグラフは中央にクロノグラフ針と呼ばれる針が配置されています。

(通常の時計の秒針がクロノグラフ針となっている)

そのため、通常の時針はインダイヤル(文字盤の中の小さな文字盤)に搭載されている事が多いです。

2時位置のプッシュボタンを押す事で、クロノグラフ針がスタート。

クロノグラフ針は、60秒で文字盤を一周します。

クロノグラフ針が60秒を超えると、文字盤に独立して設けられた積算計に経過分数と時間がそれぞれ記録される仕組みです。

具体的には1分が経過すると30分積算計が1目盛動き、1時間が経過すると12時間積算計が1目盛動く仕組みになっており、この3つの針の位置を見る事でスタートしてどの位の時間が経過したかが分かります。

一般的なクロノグラフモデルの時計は30分積算計と12時間積算計が搭載されていますが、60分積算計と24時間積算計が搭載されているモデルもあります。



8. GMT機能(タイムゾーン表示)のご使用方法

GMT機能を有する時計は、通常の時分針の他にGMT針を搭載しております。通常の時針(短針)が12時間で1周するのに対し、GMT針は一般的に24時間で1周します。

(製品によってGMT針も12時間で1周するモデルもあります)

さらに、時針(短針)とGMT針がそれぞれ別々の時刻を表示するように設定できます。

◆ ロレックス GMTマスターII エクスプローラーIIの操作方法



図1



図2



図3

リューズを日付変更のポジションに合わせ回すことにより、時針(短針)のみを独立して可動させる事ができ、時差の設定が可能となります。(2週に1回日付が変わります)

例えば、朝10時10分過ぎに東京を発ってロンドンへ向かうとします。(図1)

時計をロンドンの時間に合わせる場合、短針を時差分(反時計回りに9時間)回します。

この時、文字盤上に長短針が示す時間がロンドン時間で、午前1時10分過ぎです。(図2)

分針、秒針は各時間帯に共通で時差のセットによる影響はありません。

東から西へ行く場合(例:東京からロンドンへ)は短針を反時計回りに回し、西から東へ行く場合(例:ロンドンから東京)は短針を時計回りに回します。

回転ベゼルの▼のマークを文字盤の▽のマークに合わせると、24時間針が示す回転ベゼル上の時間が日本時間で午前10時10分過ぎです。

さらに、ベゼルを回転させて時差のセットを行うと、第3の場所の時間を知ることが出来ます。(図3)

たとえば、ニューヨーク時間を知りたい場合、まず時差表でニューヨークが日本より14時間遅れであることを知り、ベゼルの24時間目盛りで14時間回します。
すなわち前日の午後8時(20時)10分過ぎです。

国際電話や第3の時間帯への旅行の時などはこの方法が便利です。ベゼルの▼マークを文字盤の▽マークに合わせれば、また日本時間に戻すことができます。
(時差が進んでいる場合は上記の逆回りの操作になります。)

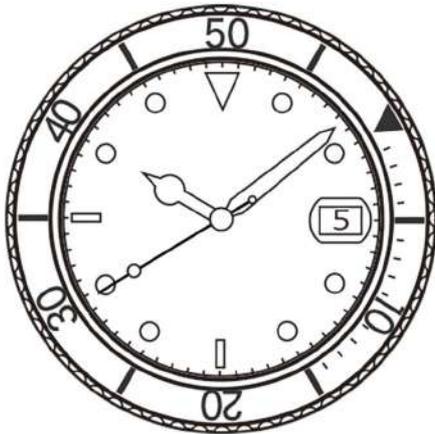
※ 時間合わせをする際、短針を回すと夜の12時近くで日付が半分切り変わった状態になることがあります。この場合は、日付が完全に切り替わるまで針を回してください。

※ 短針と24時間針を同じ時間に合わせたい時は、短針を時計回りに日付が変わるまで回します。次に短針を反時計回りに回し、24時間針が示している時刻と同じ時刻にセットします。この時、午前と午後を間違えないようセットしてください。

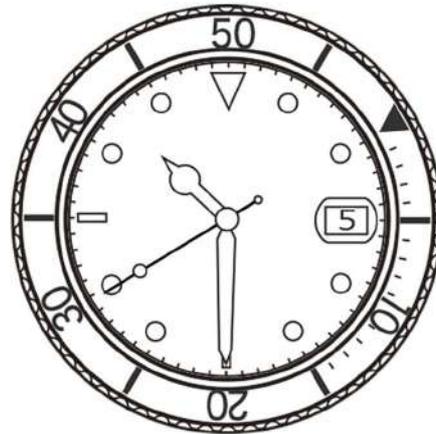
9. ダイバーズウォッチのご使用方法

◆ 回転ベゼルのご使用方法

サブマリーナやシードウエラーなどのダイバーズウォッチは、潜水時間を計測する為の逆回転防止ベゼル※1を搭載しています。



図A



図B

図Aのようにベゼル上の▼マークを長針(分針)の位置に合わせます。

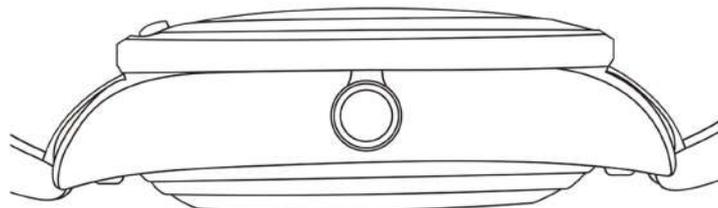
図Bのように、時間が経過して長針がベゼル上の数字20を指していますので20分経過したという事が読み取れます。

日常生活においても、コインパーキングなど経過時間を計測するシーンにも有効な機能です。

※1. 逆回転防止ベゼルとは、潜水時間を誤って長く計測しないために、一方向のみ回転する構造のことです。アンティーク品の回転ベゼルにはこの機能を備えていない事がありますのでご注意ください。

一部のプロフェッショナル仕様のダイビングウォッチ(シードウエラーなど)は、ヘリウムガス排出用バルブを搭載しています。

こちらはヘリウム飽和潜水という特殊な潜水方法を行った場合、ヘリウムガスが時計内部に侵入し、潜水浮上時に時計の内圧が上がり、風防が吹き飛ぶ事故を防ぐ為の機構です。



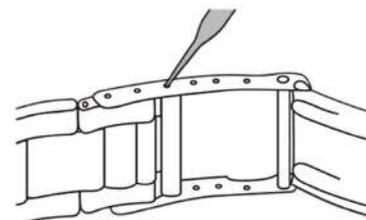
※ 海水でご使用になった場合、水道水で洗いきれよく水分を拭き取って下さい。

10. ブレスレットの調整

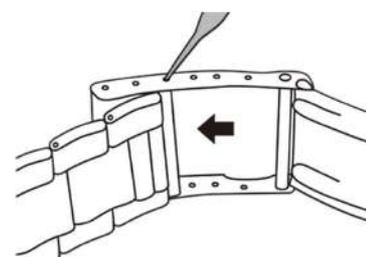
◆ 旧タイプ



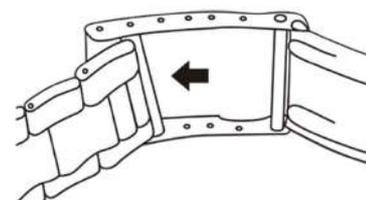
① クラスプを固定し、先端の尖ったものでバネ棒の頭を押し込んでください。



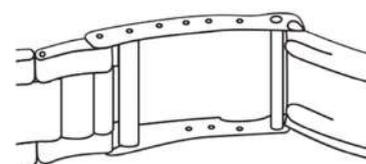
② バネ棒を隣の穴まで移動させてください。



③ 反対側も1~2の作業を行ってください。



④ 調整完了です。

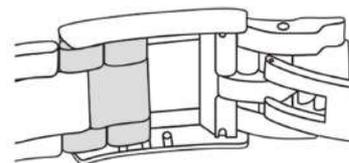


※ サイズが合わない場合は、再度1~3の作業を繰り返してください。

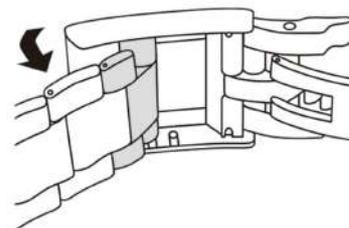
◆ 新タイプ



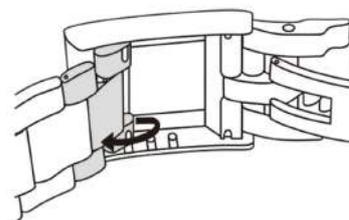
① イージーリンクと呼ばれるコマを伸ばすことで約5mmの延長が可能です。



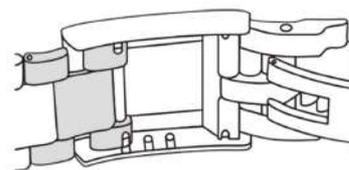
② ブレスレットを持ち上げ、ロックを解除してください。



③ 折り畳み式のイージーリンクを伸ばしてください。



④ 調整完了です。



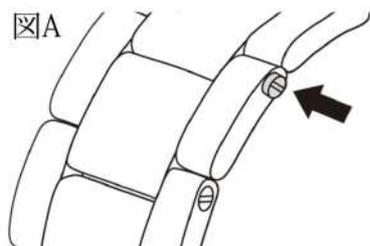
【注意事項】

※ 使用状況によってブレスレットのビス(ネジ)に緩みが生じてくる場合があります。

ご着用の前にブレスレットのビスが緩んで飛び出していないかご確認ください。

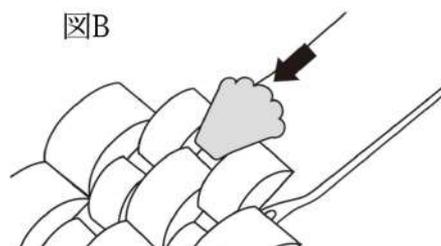
ビスが緩んでいる状態でご着用を続けられますと時計の落下による破損などの事故につながりますので、ご着用をお控えいただきご相談ください。無料にてビスの締め直しをさせていただきます。

(図A)



※ コンシールドタイプのクラスプをつけ外しする際は、留め具への力の入れすぎにご注意ください。

(Ref.116234、179174 など)(図 B)



Q&A 故障かな?と思ったら

Q. リューズ引き出しの際、引っ掛かりがなくなった。

A. オシドリ(巻真と呼ばれる軸に噛み合い固定する部品)の破損の可能性があります。

Q. リューズを引いても秒針が止まらなくなった。

A. 正常にリューズを引けていない場合があります。一度リューズを戻して引き直してください。それでも秒針が止まらない場合は故障の可能性がありますので、キングラムサポートセンターまでご連絡ください。

※ 年代の古いロレックスの場合は、ハック機能(秒針を止める機能)のないモデルもあります。

Q. リューズがうまく引けない時がある。

A. 歯車の噛み合いなどにより、リューズが引きにくい場合があります。リューズを少し回して噛み合わせの位置を変えるとスムーズにリューズを引くことができます。

Q. リューズを閉める時に異音(シャリシャリ)がする。

A. 開閉の際に異物が挟まってしまったか、ねじ山が潰れてしまった可能性がありますので無理に閉め込まず、キングラムサポートセンターまでお問い合わせください。

Q. リューズでゼンマイを巻き上げても動かない。

A. 軽く振ってみてください。リューズの巻き上げのみでは動き出さない場合があります。もし動き出さず、秒針がピクピクと振動するようであればゼンマイ切れの可能性がありますので、キングラムサポートセンターまでご連絡下さい。

Q. リューズを閉めた時に王冠マークが上を向かない。

A. 全て個体差があり、様々な方向を向いております。故障ではありませんのでご安心ください。また、ご使用による磨耗やメンテナンス時の部品交換でマークの向きが変わることもあります。

Q. 風防の内側が曇る。

A. 時計内部に水が浸入している恐れがあります。ダイヤルや針、内部パーツに錆が発生する可能性がありますので、ご使用は一旦中止し、早急にキングラムサポートセンターまでご連絡ください。

Q. ベゼルが回りにくくなった。

A. 汚れの付着・パーツの歪みの可能性がありますので、キングラムサポートセンターまでご連絡ください。

※ 汚れが原因の場合は、ベゼルの回転させることで改善される場合もあります。

- Q. ベゼルがスルスルする。
- A. ベゼル内部の部品が外れている(破損している)可能性がございますので、キングラムサポートセンターへご相談ください。尚、ヴィンテージモデルの場合には、クリック感がない仕様のモデル(Ref.5513やRef.1680など)もあります。
- Q. ブレスのサイズが急に大きくなった。
- A. イージーリンクまたはグライドロッククラスプなどのロックが外れ、エクステンション部分が伸びた可能性があります。調整方法につきましては各ページをご確認ください。
- Q. ステンレススチール製の外装部品に錆びが発生した。
- A. ステンレスは空気に触れている部分では、錆びにくいとされています。しかし、部品と部品の接合部などの空気に触れにくい部分に水分が残っていたりすると錆びます。濡れたり汗をかいた後は、しっかり拭いておくことが大切です。また、販売時に貼ってある保護シールは、ご使用前に剥がすことをお勧めします。錆びの原因になります。
- Q. ブレスレットのネジが急に外れた。
- A. 構造上、時計を使っている間に振動などによってネジが徐々に緩んでしまう場合がありますので、放置せず速やかに専用工具(精密ドライバー)でネジを締めてください。難しい場合は、ご使用を一旦中止して頂き、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 新品で購入の際、ブレスに異音(きゅっきゅ)がする。
- A. 金属同士が擦れることによって異音が発生する場合があります。超音波洗浄機にかける事によって改善される場合がございますので、キングラムサポートセンターまでご連絡ください。
- Q. 新品購入時にブレスレット・バックルが硬い。
- A. 新品(使用されていない時計)によくみられる症状です。しばらくご使用頂くことで解消されていきます。
- Q. シングルロックが緩くなってきた。留め金の締め具合が弱くなった。
- A. 時計使用時の負荷により中板の角度が変化したために起こる症状です。モデルや状況によりますが迅速に修理が可能なものもございますのでキングラムサポートセンターまでご連絡下さい。
- Q. 中板の動きが悪い。
- A. 接続部分に汚れが詰まっている可能性がございます。ブレスレットの超音波洗浄をすることで改善される場合がございますので、キングラムサポートセンターへご相談ください。また、新品の場合は使用していくうちに改善する場合がございます。

- Q. 服の袖が黒くなる。(腕が黒くなる。)
- A. ブレスレットに汚れやゴミが詰まっている可能性があります。ブレスレット洗浄によって解消される場合がございますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 針が逆に動く。または震えている。
- A. ゼンマイ切れや衝撃による指針の緩み、磁気帯びなどムーブメントの異常が考えられます。キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 24時間針がずれることがある。
- A. 24時間針がずれて時刻合わせされている可能性が考えられます。
通常、24時間針は短針・長針と連動していますので、再度、時刻合わせを行ってください。
- Q. クロノグラフ針が動かない。リセットボタンを押しても戻らない。
- A. クロノグラフ機構またはプッシャーが不具合を起こしている可能性がございますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. GMTの短針独立可動の際、カチカチとした感覚がなくスムーズと動きがスムーズになった。
- A. 部品の磨耗や破損の可能性がございますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 夜光が光らない。
- A. 2000年以降のモデルについては、蓄光塗料の「ルミノバ」または「クロマライト」となっておりますので、光を当てて頂けば発光致します。
※トリチウム夜光(自発光塗料)を採用しているモデルに関しては、経年により発光しない場合があります。
- Q. 12時前や過ぎてから日付が変わる。
- A. 歯車の噛み合わせに多少の遊びがあるため、0時の前後5分程度で切り替わりますので故障ではありません。5分以上のズレが生じる場合は、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 日付が12時付近で半分しか変わらない。
- A. カレンダー機構の歯車のかみ合わせが悪い場合があります。日付を何日か早送りすることで解消する場合がございます。改善されない場合はキングラムサポートセンターまでご相談ください。
- Q. 毎日動かしているが、気がつくとも日付がズレている。(30日までしかない月)
- A. 日付表示は毎月31日まで表示されますので、31日までない2、4、6、9、11月は手動にてカレンダーを調整していただく必要がございます。

- Q. カレンダーが昼の12時に変わる。
A. 時間セットの際、午前と午後を間違えている可能性があります。ちょうど12時間分、針を進めてください。
- Q. ゼンマイを巻くと動き出すが、巻くのを止めた瞬間に止まってしまう。
A. ゼンマイ切れや内装部品の消耗・破損の可能性がありますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. ゼンマイの巻き上げが極端に重い。異音がする。
A. 磁気帯びやオイル切れ、内装部品の破損なども考えられますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 毎日、使用しているのに時間がずれる。
A. 機械式時計は構造上、一日に数秒から十数秒の誤差が生じますので、許容範囲内であれば故障ではございません。
また、デスクワークなどによりゼンマイが十分巻かれていない場合は、手動による巻き上げを行い、一度様子を見てください。改善されない場合は、精度不良を起こしている可能性がありますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 使用していたら突然止まった。
A. 手動でゼンマイを巻き上げて(30～40回程度)ください。時計が動き出さない場合は、ゼンマイ切れの可能性がございますので、キングラムサポートセンターまでご相談下さい。
- Q. 時間が極端に進んだり(日差数分)、止まったりする。
A. 磁気を帯びたり、外的衝撃によって、内部の部品が変形・異常などを起こしていることが考えられます。早急にキングラムサポートセンターへご相談ください。
- Q. 時計を振るとカチャカチャと音がする。
A. 内装部品の緩みや外れが考えられます。放置しますと他の部品の破損につながりますので、キングラムサポートセンターにご相談ください。ブレスレットやパーツの接触によって発生している場合は問題ありません。
- Q. 長期間、時計を使用せずに止めておいても大丈夫？
A. 時計を止めることは問題ないですが、長期間放置するとオイルが固まってしまう場合もありますので、定期的にゼンマイを巻き上げて動かすことをお勧めします。
- Q. クォーツが止まった。
A. 電池切れが主な原因です。キングラムサポートセンターへご相談ください。

※有償・無償修理の判断が難しい場合、ご相談下さい。